

有限会社中村設備工業

大分県大分市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

県内唯一、九州でも数少ない各種鋼材の切断・曲げ加工を行う専門工場。得意分野で地域に貢献する

- 社長自身「相撲部屋の若女将」の如く、厳しいながらも暖かいアットホームな職場環境づくりに努めている
- 同業者からも「曲げは中村へ」と言わせる圧倒的な信頼性と技術力
- 「曲げ」に特化したブレのないビジネスモデルで知名度と信頼を構築

企業基本情報

所在地	大分県大分市原川 1-1-16
電話/FAX	097-551-3218/097-551-3269
URL	https://nakamurasetubi.co.jp/
代表者	代表取締役 田口 由香里
設立	1969年
資本金	500万円
従業員数	15人



会社概要

1969年に鉄工所として創業。以来得意の曲げ加工へ特化を進め、現在では県内唯一、九州でも数少ない各種鋼材の切断・曲げ加工専門業者として、プラント向け鋼材や建築用鋼材の曲げ加工を主要業務としている。一般的な鉄工所でも製缶や鋼材などの曲げ加工は可能だが、時間やコストを考えると、専門設備を有する工場に一括発注するメリットは大きい。同業からも「曲げは中村へ」と言わせる圧倒的な信頼性と技術力によって業績は順調に推移しており、今後の発展が大いに期待できる。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 厳しいながらも暖かいアットホームな職場環境づくり

現代表は3代目で、女性ならではの経営センスや従業員教育、財務管理など、経営に必要な要素を十分持ち合わせている。最も心がけているのが、明るい職場づくりと笑顔での仕事だ。若い従業員が多い中で、いつも明るい気持ちで何事にも取り組むことこそが、良い製品を生み出す条件だと信じ、「相撲部屋の若女将」の如く、厳しいながらも暖かいアットホームな職場環境づくりに努めている。



田口社長と社員

▶▶▶ 「曲げは中村へ」と言わせる圧倒的な信頼性と技術力

金属製パイプやチューブの材料となるSS材、ステンレス他、各種鋼材の切断・曲げ加工を行う。これらは物質の伝送やエネルギー伝達の配管等にとどまらず、自動車、航空機、家具、建築構造物などあらゆる分野で使用されており、需要は大きい。

受注先は鉄鋼会社、造船など幅広く、内容もアーケードの角パイプ、体育館のエッジからジェットコースターのレールまで多種多様である。

傷がつきやすく、仕上げが難しいステンレスを、高精度、短納期で加工できることが大きな強み。



SS材角度曲げ例

▶▶▶ 「曲げ」に特化したビジネスモデルで知名度と信頼を構築

「まちの鉄工所」として開業するも、創業者の元会長が時代の先陣を切って九州で数軒、大分では唯一の「曲げ加工」専門工場として舵を切る。以来、あらゆる鋼材を曲げることに特化することで、業界内で圧倒的な知名度と信頼を構築。特に需要増ながら加工が難しいステンレス材に対し、専用フレキシブル曲げ機を導入するなど、「曲げ」に関して妥協を許さない。より多くのニーズに応えられるよう、更なる技術の向上を目指している。



曲げ加工専門工場
有限会社 中村設備工業
〒870-0001 大分県大分市原川1-1-16

曲げ技術を全面PR